2B911-216J＊G

＊＊2010年8月26日（第8版）
＊2009年4月27日（第7版）

承認番号　21300BZY00152000

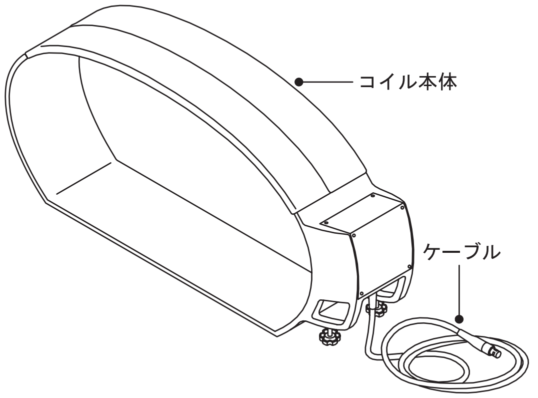
機械器具21　内臓機能検査用器具
管理　MR装置用高周波コイル　JMDN　40749000

特管　大口径体部コイル　ＭＪＬＢ－１２３Ａ

【形状・構造及び原理等】

＊1. **構成**
・コイル本体
・マニュアル一式
詳細は附属の取扱説明書 2B911-138J を参照してください。

2. **各部の名称**



患者に接触する部分とその原材料
(1) コイル本体　：　ガラス繊維強化プラスチック樹脂
＊(2) 本体カバー　：　ポリ塩化ビニル樹脂

3. **電気定格**
(1) 電撃に対する保護の形式　：　クラス Ⅰ
(2) 電撃に対する保護の程度　：　BF 形
(3) EMC 規格
本製品は、IEC60601-1-2：2001 に適合しています。

4. **本体寸法および質量**
(1) 寸法（単位：mm）
915(幅)、450(高さ)、190(奥行)
(2) 質量
5.5kg

＊5. **作動・動作原理**
本品は、1 個のチャンネルから構成された RF コイルである。東芝製磁気共鳴装置に用いて、装置から定められたタイミングで照射される高周波磁場を、装置から供給される制御信号により制御された RF 遮断回路によって高周波磁場との磁気的結合を遮断しながら被検体からの信号を受信する。被検体からの NMR 信号は、同調・整合回路により動作周波数に共振されたコイル導体により受信される。受信信号は平衡・不平衡回路により不平衡電流を遮断され、ケーブルを経て装置に伝送される。

【使用目的、効能又は効果】

＊東芝製磁気共鳴装置（0.35T）に接続して、人体からの NMR 信号を受信して断層像を得ることを目的とし、本品は、腹部及び脊椎部撮影のための RF コイルである。

【品目仕様等】

・周波数　：　15MHz
・チャンネル数　：　1
・Q 値　：　Q＞220

【操作方法又は使用方法等】

1. **使用環境条件**
(1) 周囲温度　：　15 ～ 24℃
(2) 相対湿度　：　45 ～ 60％（結露しないこと）
(3) 気圧　：　86 ～ 106kPa

＊2. **この装置の使用方法**
本 RF コイルは、東芝製磁気共鳴装置に接続して用いる。RF コイルを磁石架台内に設置し、位置決めを架台上で行い、被検体を寝台に寝かせた後、架台内に被検体を挿入し、被検体の位置決めを行い、傾斜磁場と高周波磁場を定められたタイミングで照射し、被検体からの信号を受信して、断層像を得る。

＊3. **接続可能な機器等**
以下の MR 装置等に接続することができる。
販売名　：　東芝MRI OPART MRT-600
承認番号　：　20800BZY00123000
製造販売業者　：　東芝メディカルシステムズ株式会社

【使用上の注意】

＜警告＞
1. 外装が破損していたり、金属物（導体等）が露出したりしたコイルを使用しないこと。

＜重要な基本的注意＞
1. 検査を開始する前に、コイルに異常がないことを確認すること。また、使用中にコイルの異常（連続的な画質異常、発熱、異臭等）に気付いた場合は、速やかに撮像を中止すること。
＊＊2. 火傷や高周波コイルの破損を防ぐため、高周波コイルのコネクタを接続せずに撮像を行わないこと。
3. 金属粉入りの化粧や刺青、湿布（金属粉の混入等の可能性あり）、金属物（刺繍に金属粉が混入している可能性あり）が付いた衣類の着用をした人の検査は行わないこと。
＊4. 火傷を防ぐため、コイル本体（架台内壁含む）やケーブルと人体を密着させないよう、また、患者の皮膚どうしが密着しないよう、間に発泡パッドを挟むこと。
5. 患者を架台内に送り込む際には補助マット、コイル、及び架台との間に患者が挟まれないよう注意すること。
6. コイルのコネクタは、取扱説明書で指定されたコイル接続ポートに正しく接続すること。また、複数のコネクタを使用するコイルもすべてのコネクタを正しく接続すること。
7. シーケンス条件設定時には、体重の入力および撮像部位（SAR 部位）の入力を正しく行うこと。
8. RF コイル、RF コイルのコネクタ及び、RF コイル接続ポートに、水や薬品をこぼさないこと。こぼしてしまった場合、速やかに使用を中止すること。
9. このコイルは防爆型ではないので、コイルの近くで可燃性および爆発性の気体を使用しないこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

10. コイルの殺菌の際、本体を高温に曝したり、エチレン・オキシド・ガスを使ったりしないこと。
11. コイルは、そのコイルが据付けられた MRI 装置のみで使用すること。

＜臨床検査結果に及ぼす影響＞

1. 患者を架台内へ送り込んだとき、ケーブルが天板上にあることを確認すること。ケーブルが架台内壁（送信コイル）に接触していると、画像不良を起こす場合がある。

＜その他の注意＞

1. コイル清掃の際、ベンジン、シンナなどは使わないこと。
2. コイルは専用の保管棚に保管し、直接床には置かないこと。また一時的であっても、他の部屋（病室等）に移動させないこと。
3. コイル、及び組合せ製品を廃棄する場合は、最寄りのサービスセンタに問い合わせること。

この他にも本品を使用するに当たっての注意事項が、取扱説明書の冒頭にピンクや黄色で色分けされたページにまとめて記載してありますので、本品を使用する前に必ずお読みください。

取扱説明書　2B911-138J

- 「安全上の注意」
- 「使用・管理に関する重要情報」
- 「保証について」
- 「免責事項について」
- 「このマニュアルの使い方」

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＊1. **輸送及び保管条件**

(1) 周囲温度　：　-10 ～ 65℃
(2) 相対湿度　：　20 ～ 90％（結露しないこと）
(3) 気圧　　　：　86 ～ 106kPa

2. **耐用期間**

指定された保守点検を実施した場合に 6 年です。
［自己認証（当社データ）による］
（ただし、使用状態により差異があるため個別に定める場合はこれを優先します。）
なお、耐用期間内においても次の部品は交換が必要です。

(1) 消耗部品
(2) 故障部品

【保守・点検に係る事項】

保守点検には、「日常点検、定期点検」および「定期交換部品・消耗部品の交換」があります。

1. **日常点検**

「始業点検」と「終業点検」があります。お客様に行って頂く点検です。

(1) 始業点検
汚れのないこと、外観に破損など異常がないことを確認してください。
(2) 終業点検
使い終わったら、清掃して汚れの残っていない状態に戻しておきます。

詳しくは本品の取扱説明書の第8章「8.1　日常点検」を参照願います。

2. **定期点検**

定期点検を行ってください。製品の安全性・性能を維持するために、下記の点検が必要です。

(1) 外観確認／清掃
(2) 外装カバー等の固定ネジのゆるみチェック
(3) ファントムによる画像確認

ただし、実施にあたっては、専門技術を必要としますので、当社サービスセンタにお問い合わせください。
詳しくは本品の取扱説明書の「8.2　定期点検」を参照願います。

＊3. **定期交換部品と消耗部品**

特にありません。

【包装】

＊1台単位で包装する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

＊	製造販売業者 東芝メディカルシステムズ株式会社 住所：〒324-8550 栃木県大田原市下石上 1385 番地 ご連絡は当社　品質環境保証部　にお願い致します。 ＴＥＬ：0287-26-6304（ダイヤルイン）
	休日・夜間　お客様コール受付窓口 東芝メディカルコールセンタ お客様専用フリーダイヤル：0120-1048-01 開設時間： 営業日　17：30 ～ 翌日　9：00 休業日　 9：00 ～ 翌日　9：00
＊＊	製造業者 Quality Electrodynamics, LLC (USA, Ohio) クオリティ　エレクトロダイナミクス　エルエルシー （米国、オハイオ州）
	最寄りのサービスセンタ

取扱説明書を必ずご参照ください。